

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	都市型ホテル（マーケティング担当）	・宿泊客については、県内各地のホテルは今後も好調に推移すると予測しており、当ホテルの予約状況も好調である。
	やや良くなる	一般小売店〔菓子〕（企画担当）	・観光市場はやや持ち直し傾向にある。
		コンビニ（経営者）	・観光客が増加しており、さらに今後、周辺地において祭りなどのイベントが企画されている。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・8月は観光イベントやモノレール開通のイベントなどの企画があり、モノレール開通の集客力に期待している。今後、短期間については好調に推移する。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・顧客のトレンド、ニーズの変化が早く、それに加えて本物志向も出てきている。安いだけでは新しい店が近くにオープンするとすぐにそこに客は流れるなど、店ができるたびに次々に流れる傾向がある。当事者としては大変だが、競争が激化する分、客の流れは良くなっている。
	旅行代理店（経営者）	・海外旅行の復活の兆しが出てきており、秋以降に期待している。	
変わらない	スーパー（経営者）		・客単価は依然厳しい状況にあり、来客数自体はあるものの、チラシの内容による競合店との競争が依然として続いており、低い客単価の現状も今後数ヶ月は続く。
		コンビニ（エリア担当）	・モノレール開業のイベントがあるが、その効果は一時的なものに過ぎず、消費を左右させるまでにはいかない。
	衣料品専門店（経営者）	・夏のセールもある程度終わり、街にはあまり活気はみられないものの、今後は秋、冬物の新しいシーズンの商品が入ってくるため今後に期待したい。	
	衣料品専門店（店員）	・戦争、SARS、異常気象、倒産、合併等景気が良くなるようなニュースが少ないことから、個人の支出よりも個人で蓄える方に重点が置かれているように感じる。	
	高級レストラン（副支配人）	・主だったイベントがみられず、国内全体の旅行に対する客の形態も客が独自で選択するという傾向も含めて変わらず、よって団体客の増加は見込めないことから今後も変わらない。	
	観光名所（職員）	・夏休みに入って来客数が増加しており、この傾向が9月まで続く。 ・イベントを増やしリピーターに対応する。	
	住宅販売会社（従業員）	・今後も住宅需要の低下は避けられないが、金利の上昇気運がある中、消費者が駆け込み的に動くかどうか反応に期待している。	
やや悪くなる	一般小売店〔衣料・雑貨〕（店長）		・ヒットが期待できる商品の見通しがなく、来客数は今の時期より減ると予想されるため、やや悪くなる。
		百貨店（担当者）	・デパートが本来強いとされる中元などのギフト商品に関しては順調に推移していることから、8月末の秋物入荷時期に幾分かは回復してくるが、全体の動向を押し上げるほどにはならず、本土が例年に比較して冷夏であり、秋物商品を急速に売場展開しており、期待度の高い秋物衣料の沖縄への展開が幾分か遅れることが予測されることから、主力商品の衣料品は当面苦戦し、今後は若干悪化することが懸念される。
	百貨店（総務担当）	・来客数は依然2桁のマイナスとなっており、今後も回復は厳しい。	
	スーパー（企画担当）	・10月以降、競合各社の新店舗オープンが大小含め相次いで予定されていることから、競争激化により来客数が減少するなど、今後も厳しい状況が続く。	
	コンビニ（経営者）	・今後は社会保険等の負担上昇が現実的なものとなり、庶民の懐に影響が出る。	
	家電量販店（副店長）	・来客数は変わらないが、冬商戦に向け客の買い控えが発生し、客単価が下落し、売上額は落ち込む。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・夏場になり、観光客の来客はあるが、通常ならば中元の買物で多くなるはずの地元客が外周部の店舗に流れていることから、当商店店舗では日々売上が減少し、大変危機的状況になる。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・現在、当社に引き合いが来ている物件のうち数件が受注契約となることが期待される。
	変わらない	輸送業（営業担当）	・農産物の出荷状況にもよるが、好転する特別な要素は今のところ見当たらない。

	不動産業（従業員）	・取引先の様子からも今後も特に変化はない。	
やや悪くなる	輸送業（総務担当）	・特に大きな店舗展開も聞かれないため、現在の好状況が落ち着き、物量は減少する。	
	通信業（営業担当）	・今後も変わらず旧サービスから新サービスへの変更が大半を占めると予想され、例年以上の引き合いが受注に結びつかない限り売上の増加は見込めない。	
	不動産業（支店長）	・良くなる兆しが見当たらない。	
	悪くなる	-	
雇用 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・長期で安定した派遣依頼の件数は横ばいの状況にあるが、プロジェクト的な単発案件については増加が見込まれることから、今後に期待したい。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・モノレール開通に期待している。
		学校〔大学〕（就職担当）	・建設関連業者で企業倒産が散見されるが、テロやSARSの沈静化で観光関連に明るさがみられ、また米国の影響で株価も1万円台に近づくなど好調であることから、景気はやや良くなる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	・相変わらず正社員の応募が少ない。 ・大手スーパー、居酒屋などの飲食店、その他サービス業などの新店舗オープンなどで、アルバイト応募が多少増加傾向にあるがその反面、退職者も多いことから全体的には変わらない。
職業安定所（職員）		・新規求職数は前年同月比12.5%増加しており、男性の求職者が50.9%と構成比が大きくなっている。また、全体の25.2%が雇用保険受給者となっており、新規常用求職者の離職理由を構成比で見ると、自己都合離職者が50.3%、事業者都合離職者28.2%となっており、今後も厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	